

学力向上に係る効果的事例

基礎学力コンテスト実施による基礎・基本の定着

【加須市教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、全学年、国語・数学

2 ねらい

国語及び数学における基礎的な内容（漢字や計算）を理解する。

3 取組内容

3つの達成目標や国や埼玉県学習状況調査等の結果より、漢字や計算について確実な定着が必要である。そのために、全校で一斉に「基礎学力コンテスト」を実施している。

国語や数学における基礎・基本（身に付けなければならない事項）である漢字と計算を中心に、学期に1回程度、放課後の時間を活用して、全学年が共通の問題〔1年においては既習学習の関係で一部別問題〕を取り組む。

問題の結果については、成果の出た生徒の名前を学年掲示版に掲示したり、学級で取り組む活動でもあるため、成果の出た学級については学級表彰も実施している。

また、毎回共通の問題も出題して変容を見ると共に、正誤の集計を行い、苦手とする漢字や計算の傾向を分析している。

(↓基礎学力コンテストの問題の一部)

第1回 基礎学力コンテスト(国語)

①～⑩の漢字はひらがな、⑪～⑬のカタカナは漢字に直しなさい。
(送りが必要な場合は送りがないをつけること)。
(とめ、はね、はらいがきちんとしていないものはバツになります。)

① 反映 ② 敬語 ③ 深刻 ④ 射る ⑤ 就職
⑥ 推理 ⑦ 帰宅 ⑧ 難しい ⑨ 否定 ⑩ 規律
⑪ 花が散り、ハザクラとなった。 ⑫ 妹はよく私にサカサウ。 ⑬ 我慢にもグッドがある。

第2回 基礎学力コンテスト(数学)

1年組 番氏名 _____

1 次の数の大小関係を、不等号を使って表しなさい。

① -3 と $+2$ ② -6 と -7

2 次の計算をしなさい

(1) $(+3)+(+6)$ (2) $(-6)+(-2)$
(3) $(-4)+(+1)$ (4) $(+2)-(+3)$

4 成果と課題

共通の問題については、正答率が概ね上昇しており、学習の成果は出ている。特に数学においては、正答率の上昇が高く（最大は2.5ポイント）、基礎学力コンテスト実施による生徒の事前の反復学習の結果が表れている。

学習の成果を掲示したことにより個々の学習へ意欲が高まったと同時に、学級表彰も実施したため、学級として漢字、計算練習に取り組む姿が見られ、学級全体の学力向上につなげることができた。

各問題の正答率のばらつきがあることから、各問題の詳細な分析を実施し、身に付けるべき基礎・基本については、確実に身に付けさせると共に、問題の範囲の提示や表彰の方法を工夫・改善して定着に努めたい。



